

## 第7期

# 運用報告書(全体版)

## ワールド・ベスト・カンパニー(中国) (愛称 WBC中国)

【2016年4月15日決算】

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。  
皆様の「ワールド・ベスト・カンパニー(中国)(愛称 WBC中国)」は、2016年4月15日に第7期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 **岡三アセットマネジメント**

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ  
フリーダイヤル ☎0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

【ホームページ】

<http://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。  
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2009年6月10日から2019年4月15日までです。
運用方針	<p>主として、中華人民共和国(以下、「中国」といいます。 )の取引所上場株式に投資し、投資信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。</p> <p>中国を代表する企業(ベスト・カンパニー)の株式(DR(預託証券)を含みます。)に投資します。</p> <p>銘柄の選定にあたっては、ハンセン総合指数の構成銘柄の中から、収益力、財務体質、バリュエーション、株式市場の物色動向等を勘案した上で行います。なお、市場規模、流動性、投資規制等により、銘柄の選定を行う株価指数を変更または追加する場合があります。</p> <p>ポートフォリオの構築にあたっては、組入銘柄数を20~30銘柄程度とします。</p> <p>株式の実質組入比率は、原則として投資信託財産の純資産総額の30%以上100%以下の範囲内で弾力的に変更し、投資環境や市場動向に柔軟に対応した運用を行います。</p> <p>なお、株価指数先物取引を利用する場合は、株式の実質組入比率の引き下げ(売建て)に限定します。</p> <p>有価証券の組入比率は、投資信託財産総額の50%超とします。</p> <p>外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主要投資対象	中国の取引所上場株式を主要投資対象とします。
投資制限	株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	<p>毎年4月15日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。</p> <p>分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。</p> <p>分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。</p> <p>分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。</p>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			ハンセン総合指数		為替レート (香港ドル/円)	株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額
	(分配落)	税金 込み	期中 騰落 率	(香港ドルベース) (参考指数)	期中 騰落 率				
	円	円	%	ポイント	%	円	%	%	百万円
3期(2012年4月16日)	7,586	0	△21.7	2,874.16	△15.3	10.44	95.7	—	162
4期(2013年4月15日)	9,105	0	20.0	3,042.60	5.9	12.71	91.0	—	130
5期(2014年4月15日)	9,698	0	6.5	3,186.15	4.7	13.14	77.6	—	99
6期(2015年4月15日)	13,812	500	47.6	3,878.52	21.7	15.43	94.0	—	102
7期(2016年4月15日)	8,663	0	△37.3	2,923.23	△24.6	14.15	95.2	—	56

(注) 基準価額および分配金（税引前）は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) ハンセン総合指数（香港ドルベース）は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

(注) ハンセン総合指数（香港ドルベース）は当該日前営業日の現地終値です。為替レートは、対顧客電信売買相場の当日（東京）の仲値です。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

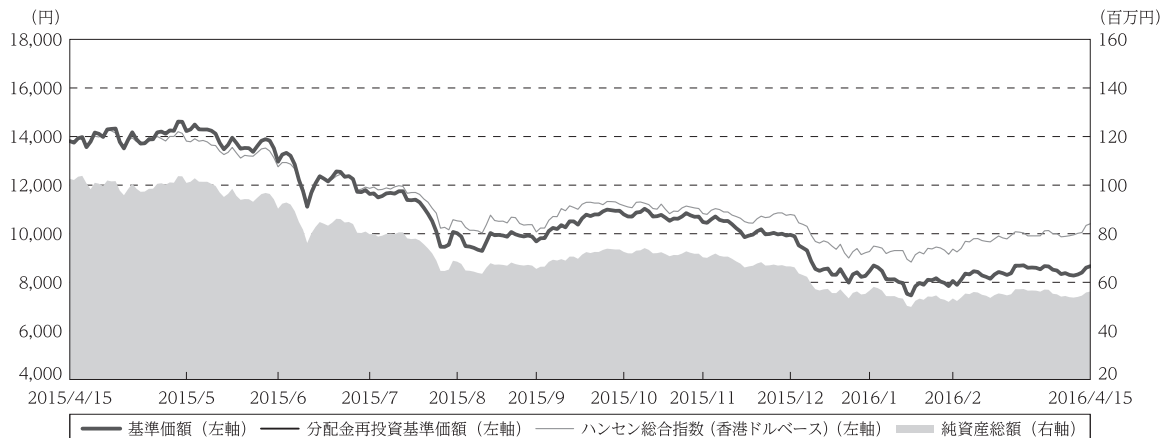
年月日	基準価額		ハンセン総合指数		為替レート (香港ドル/円)	株式 組入比率	株式 先物比率
	騰落率	騰落率	(香港ドルベース) (参考指数)	騰落率			
(期首) 2015年4月15日	円	%	ポイント	%	円	%	%
	13,812	—	3,878.52	—	15.43	94.0	—
4月末	14,315	3.6	3,996.86	3.1	15.35	91.2	—
5月末	14,225	3.0	3,878.52	0.0	15.96	96.0	—
6月末	12,962	△6.2	3,581.93	△7.6	15.79	87.8	—
7月末	11,636	△15.8	3,332.74	△14.1	16.00	86.5	—
8月末	10,021	△27.4	2,957.09	△23.8	15.64	80.3	—
9月末	9,684	△29.9	2,828.95	△27.1	15.48	77.2	—
10月末	10,797	△21.8	3,133.42	△19.2	15.60	90.3	—
11月末	10,480	△24.1	3,041.13	△21.6	15.85	94.1	—
12月末	9,955	△27.9	3,030.04	△21.9	15.56	88.5	—
2016年1月末	8,462	△38.7	2,602.76	△32.9	15.51	94.2	—
2月末	8,055	△41.7	2,630.02	△32.2	14.62	92.3	—
3月末	8,667	△37.3	2,841.49	△26.7	14.53	93.6	—
(期末) 2016年4月15日	8,663	△37.3	2,923.23	△24.6	14.15	95.2	—

(注) 騰落率は期首比です。

## 運用経過

### 期中の基準価額等の推移

（2015年4月16日～2016年4月15日）



期首：13,812円

期末：8,663円（既払分配金(税引前)：0円）

騰落率：△ 37.3%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、ハンセン総合指数（香港ドルベース）です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2015年4月15日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

#### (主なプラス要因)

- ・当期中に組み入れた一部の大手インターネット株や電子部品株、自動車部品株が上昇したこと。

#### (主なマイナス要因)

- ・石油などのエネルギー株や、銀行や証券などの金融株、新エネルギーや廃棄物処理などの環境関連株が大幅に下落したこと。
- ・為替市場で、香港ドルが対円で下落したこと。

## 投資環境

（2015年4月16日～2016年4月15日）

中国・香港株式市場は、期首から2015年9月下旬にかけては、米国の利上げに対する警戒感が強まる中、ギリシャ情勢を巡る先行き不透明感が高まったことや、中国の主要経済指標が景気の悪化を示したことに加え、原油相場の下落などが嫌気され、下値を模索する展開となりました。10月以降は、中国政府による政策が強化されるとの期待を背景に一時的に反発したものの、世界的な地政学的リスクの高まりが懸念され、年末にかけてもみ合う展開となりました。2016年1月には、世界経済の先行きへの懸念などから投資家のリスク回避姿勢が一層強まり、急落しました。しかし2月から期末にかけては、原油相場が上昇に転じる中、戻りを試す展開となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

（2015年4月16日～2016年4月15日）

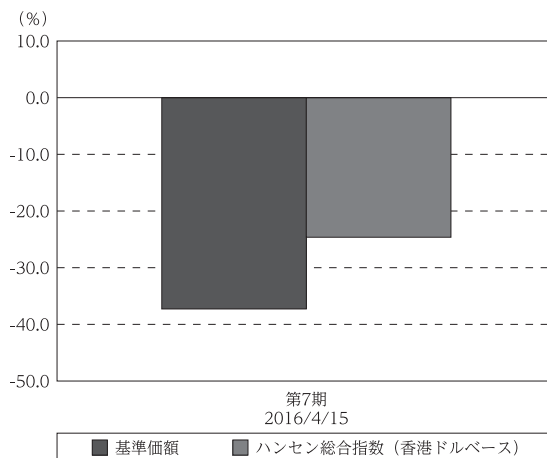
中国政府が経済構造の転換を進める過程において、安定成長を重視する姿勢を貫く中、財政支援の強化が予想される分野の銘柄のウェイトを高位としました。中国政府が製造業分野の高度化を図る中で、業界全体への強い支援が見込まれる半導体関連株や、インフラ投資の拡大を背景に業容の拡大が見込まれる鉄道建設株の選別投資を継続しました。一方、利益率の悪化傾向が続く中、不良債権の増加に対する警戒感が株価の抑制要因になると判断し、銀行株のウェイトを大きく引き下げました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2015年4月16日～2016年4月15日）

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、基準価額の騰落率は、参考指数としているハンセン総合指数（香港ドルベース）の騰落率を12.7%下回りました。詳細につきましては前掲の「基準価額の変動要因」をご参照ください。

### 基準価額と参考指数の対比（騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、ハンセン総合指数（香港ドルベース）です。

## 分配金

（2015年4月16日～2016年4月15日）

当ファンドは、毎年4月15日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象収益とします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。

当期の分配金につきましては、見送りといたしました。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

## （分配原資の内訳）

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第7期
	2015年4月16日～ 2016年4月15日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,920

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### （投資環境の見通し）

当面の中国・香港株式市場については、金融と財政両面の政策支援期待を背景に、戻りを試す展開が続くと予想します。中国政府は、6%台の経済成長を維持するために、内需拡大を目的とする刺激策を推進することが予想されます。香港ドルに関しては、米国の利上げペースが緩やかになることが予想され、当面は安定的に推移すると予想されます。

### （運用方針）

マクロ環境や企業業績動向を分析し、セクターウェイト及び銘柄選択を重視した投資を行う方針です。中国政府の政策スタンスや企業戦略を注視しながら、市場の投資テーマや個別銘柄のバリュエーション、流動性などを考慮し、消費関連銘柄やIT関連銘柄を中心に選別する方針です。なお、外貨建資産につきましては、原則として為替ヘッジを行いません。

○ 1万口当たりの費用明細

(2015年4月16日～2016年4月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	192	1.782	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(101)	(0.934)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 83)	(0.772)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 8)	(0.076)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	67	0.623	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	( 67)	(0.623)	
（ 新 株 予 約 権 証 券 ）	( 0)	(0.000)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	41	0.384	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	( 41)	(0.384)	
（ 新 株 予 約 権 証 券 ）	( 0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	208	1.929	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(205)	(1.901)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 1)	(0.013)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 2)	(0.015)	その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用
合 計	508	4.718	
期中の平均基準価額は、10,771円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年4月16日～2016年4月15日)

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	香港	百株 9,691 ( 633)	千香港ドル 8,097 ( 1)	百株 11,828 ( -)	千香港ドル 8,632 ( 1)

(注) 金額は受渡代金です。

(注) 単位未満は切捨てです。

(注) ( )内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

新株予約権証券

		買 付		売 付	
		証 券 数	金 額	証 券 数	金 額
外 国	香港	証券 — (8,750)	千香港ドル — (-)	証券 8,750	千香港ドル 6

(注) 金額は受渡代金です。

(注) 単位未満は切捨てです。

(注) ( )内は権利行使および権利行使期間満了等による増減分です。

○株式売買比率

(2015年4月16日～2016年4月15日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	259,883千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	65,821千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	3.94

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

(2015年4月16日～2016年4月15日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
		百万円	%		百万円	%
株式	125	40	32.0	133	42	31.6

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	456千円
うち利害関係人への支払額 (B)	165千円
(B) / (A)	36.4%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはOKASAN INTERNATIONAL ASIA LTD/HONG KONGです。

○組入資産の明細

(2016年4月15日現在)

外国株式

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(香港)	百株	百株	千香港ドル	千円	
AIA GROUP LTD	30	—	—	—	保険
ANTA SPORTS PRODUCTS LTD	—	90	171	2,432	耐久消費財・アパレル
ASM PACIFIC TECHNOLOGY	30	—	—	—	半導体・半導体製造装置
BANK OF CHINA LTD-H	500	—	—	—	銀行
BEIJING ENTERPRISES WATER GROUP LTD	400	—	—	—	公益事業
BYD CO LTD-H	—	55	237	3,362	自動車・自動車部品
CHINA EVERBRIGHT INTL LTD	400	—	—	—	商業・専門サービス
CHINA LIFE INSURANCE CO-H	50	—	—	—	保険
CHINA MERCHANTS HLDGS INTL	80	—	—	—	運輸
CHINA OVERSEAS LAND & INVESTMENT LTD	—	40	101	1,429	不動産
CHINA NATIONAL BUILDING MA-H	100	—	—	—	素材
CHINA RAILWAY CONSTRUCTION-H	250	—	—	—	資本財
CHINA RESOURCES LAND LTD	104	104	209	2,963	不動産
CHINA UNICOM HONG KONG LTD	140	—	—	—	電気通信サービス
CHINA EASTERN AIRLINES CO-H	—	160	74	1,050	運輸
CITIC SECURITIES CO LTD-H	—	130	245	3,469	各種金融
CLP HOLDINGS LTD	—	15	108	1,528	公益事業
COSCO PACIFIC LTD	200	—	—	—	運輸
COUNTRY GARDEN HOLDINGS CO	700	—	—	—	不動産
DONGFENG MOTOR GRP CO LTD-H	80	—	—	—	自動車・自動車部品
DIGITAL CHINA HOLDINGS LTD	300	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
FIH MOBILE LTD	1,200	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器



ワールド・ベスト・カンパニー（中国）（愛称 WBC中国）

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(香港)	百株	百株	千香港ドル	千円		
GALAXY ENTERTAINMENT GROUP LIMITED	—	40	116	1,644	消費者サービス	
HONG KONG & CHINA GAS	—	60	89	1,261	公益事業	
HONG KONG EXCHANGES & CLEAR	—	10	193	2,743	各種金融	
INDUSTRIAL & COMMERCIAL BANK OF CHINA-H	500	—	—	—	銀行	
HAITONG SECURITIES CO LTD-H	38	156	209	2,957	各種金融	
LENOVO GROUP LTD	180	280	180	2,547	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
MAN WAH HOLDINGS LTD	—	100	97	1,379	耐久消費財・アパレル	
PETROCHINA CO LTD-H	—	200	106	1,511	エネルギー	
PING AN INSURANCE GROUP CO-H	—	60	229	3,247	保険	
SEMICONDUCTOR MANUFACTURING	—	2,200	154	2,179	半導体・半導体製造装置	
SINOPEC SHANGHAI PETROCHEM-H	—	300	112	1,591	素材	
SINOTRANS LIMITED-H	—	90	35	497	運輸	
TECHTRONIC INDUSTRIES CO LTD	—	60	181	2,572	耐久消費財・アパレル	
TENCENT HOLDINGS LTD	20	18	297	4,202	ソフトウェア・サービス	
TRAVELSKY TECHNOLOGY LTD-H	—	80	116	1,648	ソフトウェア・サービス	
SUNNY OPTICAL TECH	120	100	239	3,381	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
XINYI GLASS HOLDINGS LTD	900	—	—	—	自動車・自動車部品	
PAX GLOBAL TECHNOLOGY LTD	—	220	157	2,232	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
CT ENVIRONMENTAL GROUP LTD	200	500	119	1,690	公益事業	
CAR INC	50	—	—	—	運輸	
合 計	株 数 ・ 金 額	6,572	5,068	3,782	53,524	
	銘柄 数 < 比 率 >	24	24	—	< 95.2% >	

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、当期末の純資産総額に対する各国別株式評価額の比率です。

(注) 株数・評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 一印は組み入れがありません。

(注) 銘柄及び銘柄数は、新株等がある場合、別銘柄として記載しております。

○投資信託財産の構成

(2016年4月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 53,524	% 92.9
コール・ローン等、その他	4,115	7.1
投資信託財産総額	57,639	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 当期末における外貨建純資産（53,397千円）の投資信託財産総額（57,639千円）に対する比率は92.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1香港ドル=14.15円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2016年4月15日現在）

項目	当期末
	円
(A) 資産	57,822,360
コール・ローン等	4,060,356
株式(評価額)	53,524,811
未収入金	182,432
未収配当金	54,761
(B) 負債	1,611,098
未払金	1,054,187
未払信託報酬	552,950
その他未払費用	3,961
(C) 純資産総額(A-B)	56,211,262
元本	64,889,503
次期繰越損益金	△ 8,678,241
(D) 受益権総口数	64,889,503口
1万口当たり基準価額(C/D)	8.663円

(注) 計算期間末における1口当たり純資産額は0.8663円です。

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は8,678,241円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は74,261,890円、期中追加設定元本額は110,896円、期中一部解約元本額は9,483,283円です。

○損益の状況（2015年4月16日～2016年4月15日）

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	1,631,663
受取配当金	1,661,650
受取利息	△ 29,987
(B) 有価証券売買損益	△32,340,119
売買益	5,299,406
売買損	△37,639,525
(C) 信託報酬等	△ 2,722,129
(D) 当期損益金(A+B+C)	△33,430,585
(E) 前期繰越損益金	24,781,053
(F) 追加信託差損益金	△ 28,709
(配当等相当額)	( 659,278)
(売買損益相当額)	(△ 687,987)
(G) 計(D+E+F)	△ 8,678,241
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△ 8,678,241
追加信託差損益金	△ 28,709
(配当等相当額)	( 659,278)
(売買損益相当額)	(△ 687,987)
分配準備積立金	24,781,053
繰越損益金	△33,430,585

(注) 損益の状況の中で、(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額、監査費用を含めて表示しています。(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第7期
(a) 配当等収益(費用控除後)	0円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	659,278円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	24,781,053円
分配対象収益(a+b+c+d)	25,440,331円
分配対象収益(1万口当たり)	3,920円
分配金額	0円
分配金額(1万口当たり)	0円

〈お知らせ〉

金融商品取引業等に関する内閣府令等の改正に伴い信用リスクを適正に管理するために、投資信託約款に所要の整備を行うべく、約款の変更を行いました。(実施日：2016年1月12日)

**用語解説**

○**資産、負債、元本及び基準価額の状況**は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>資産</b>	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
<b>負債</b>	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
<b>純資産総額(資産－負債)</b>	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
<b>受益権総口数</b>	受益者が保有する受益権口数の合計です。
<b>1(万)口当たり基準価額</b>	1(万)口当たりのファンドの時価です。

**用語解説**

○**損益の状況**は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>配当等収益</b>	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
<b>有価証券売買損益</b>	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
<b>信託報酬等</b>	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。
<b>当期損益金</b>	当期における収支合計です。
<b>前期繰越損益金</b>	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
<b>追加信託差損益金</b>	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
<b>計</b>	収益分配前の期中の収支の総合計です。
<b>収益分配金</b>	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
<b>次期繰越損益金</b>	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
<b>分配準備積立金</b>	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
<b>繰越損益金</b>	翌期に繰り越す損益金の額です。